

【 IT × 知財を操るワークショップ 】

～リスクから貴方の知財をマモル～

第1回：組込みシステムの知的財産戦略(総論)

とき 平成26年7月29日(火) 14:00～16:30(受付13:40～)

ところ **グランフロント大阪** (大阪市北区大深町3-1) 地下2階 **コングレコンベンションセンター** ルーム5

【対象】 組込み分野の知的財産に関心のある企業、コーディネータ等

製品機器に内蔵される「組込みシステム」は、イノベティブな商品や産業に欠かせない重要な技術であり、様々な産業における高付加価値化や新ビジネス創出の源泉となっています。

自社製品開発や他社との共同開発を積極的に行う組込み企業が増えていますが、一方で、自社開発した製品が他社の特許を侵害していることが判明し販売できなくなったり、共同開発において意図せずノウハウが流出したりするなどのトラブルも少なくありません。

本ワークショップでは、自社の技術・ノウハウを守りながら、効果的にビジネスを進めるための知財戦略の考え方など、企業経営において知っておきたい知財戦略のポイントについて、4回シリーズでご紹介します。

第1回目は、「組込みシステムの知的財産戦略」についてご紹介します。「知的財産」と言われてもいったい何をすればいいんだろうとお悩みの皆様、自社の技術・ノウハウと知財を考えるきっかけとして本セミナーをご活用ください。

プログラム

14:00-15:00

【講演1】“自社の組込み技術を守り、その強みを活かす知財戦略”



大阪工業大学大学院 知的財産研究科 教授 才川 伸二郎氏

自社開発や他社との共同開発の成果として生まれた技術、ノウハウを、いかに知的財産として守り、それを自社の強みとして活かしたビジネスにするかを、組込み産業分野の知的財産の課題、事業戦略における知的財産の役割とともにご紹介します。

15:00-16:00

【講演2】“今日からはじめる!経営戦略としての知財”



インテリクス特許法律事務所 弁理士 上羽 秀敏氏

資源が限られているなか何を特許化するのか、共同開発で留意すべきポイント、他社の特許を侵害しないための方法など、企業の経営戦略として自社の組込み技術・ノウハウをどう守っていくのか、具体的な事例とともにご紹介します。

16:00-

ケーススタディによるワークショップ、名刺交換会

